



発行者：朝日連区地域づくり協議会

(担当 広報委員会)



安全安心な連区をめざして

発行日:平成26年9月1日

『鮎つかみ体験』を楽しみました

8月3日(日)朝日公民館「家庭学習部」主催で鮎のつかみ捕りが行われました。朝日東小学校へ120名程の子供さんが参加し、保護者の方も一緒になって歓声を上げ、大盛会でした。



いっぱいいるぞ



ヨイショ ヨイショ



ギョッ



お母さん



ヌルヌルだー

【子供たちの声】

- ☆ 鮎が思っていたより元気がいい。頑張っていっぱい捕りたい。
- ☆ 手で触ったら、ぬるっとして素早かった。
- ☆ 毎年来ているから、余裕です。塩焼きにして食べます。
- ☆ 鮎を追っかけて、遊ぶのが楽しかった。
- ☆ 思ったよりたくさん捕れて嬉しかった。



逃がすもんか!

【保護者の方にインタビューしました】

- 自然のままの魚に手で触れさせてくて、参加しました。
 - 子供たちの表情が、鮎と同じように生き生きとしていて、楽しそうでいいですねー。
 - 初めて参加させたんで、大分苦戦してましたねー。
 - 姉は戸惑っていたけど、弟はもう夢中で捕まえに行きました。
 - 着替えも持ってきました。去年息子は触られなかったけど、今年は捕まえたので、1年の成長を感じました。
 - 昨年も喜んでいたので、今年も来ました。直ぐ満員になるんですね。
- ※ 掲載した写真をご希望の方は、(69-3148 菅野まで)



びしょぬれだー



先ず一匹ゲット



ホラッ、お父さん



【トピックス】ドンカチ太鼓の練習

タイヤ叩いて練習してます(昨年)

落語長屋での会話

1年ぶりに長屋の八つつあん・熊さん・大工の松つつあんに再登場してもらいました。



「ねえねえ大家さん、毎月出る“たより”を読み始めて1年以上になるんだが、地域の事業や各種行事が紹介されていて、参考になるのう」



「そうさな、写真を多くして見やすくしたるんで、先ず手に取って読んでくれるのが何よりじゃ、ところで何か注文することはないかいのう」



「そんなら聞か、先ず事業を始めてどんないいことがあったかという事が知りたいんじゃがのう。それと、1年経っての報告を読んでも、これといった目玉になる事が書いてないと思うんじゃが」



「なるほど。何をやるにも、やったらやったでいいことが有ったほうがいいから。言えるのは、この「地域づくり協議会だより」を毎月発行したので、色々な事業を行うのに多くの人たちが携わり、協力し合ってやっていて、参加者も多くいるということがわかってもらえたのが良かったわい。なんでも新しい事をやるというのは大変だが、大勢の人が参加してくれると『やって良かった』と思えることが一番じゃ」



「そうかー。でもよう、他にはないのかい、パーッと派手でみんなが飛びつきそうな魅力ある事業は！」



「うーん、とにかく2～3年は今のようなことを続けて、皆の意見を聞いたうえで、連区全体のことを考えた事業をやりたいと思っているんだ。それにはお金と人の問題がある。財源は、交付金が頼りだが事業によってはそれだけでは賄えないんじゃ。それに、何ととっても人・組織をどう作るかだ。新しい事をやろうとすると、今以上に参加してくれる人が必要だからな。朝日連区を元気にするために、そのあたりを皆で考えて欲しいんじゃよ」



「そうかー、まだまだ、考えにゃいけないことがいっぱいあるんだなー」

「みんなが参加して、意見をどんどん出すことも大事なんだ」



「せっかくいろいろな人が世話してくれているんだからよう、市の広報の中に入ってくる市民体育祭はじめいろいろな事業に、みんな出かけて盛り上げようぜ！」「よっしゃー！」「いいとも！」と会話も弾みました。



《次号予告 ペットボトルロケット・敬老会・その他》